

パイン

2020年12月発行
VOL.3 冬号



〔表紙〕盛岡市長橋町自治会(盛岡市)

盛岡市の長橋町自治会は、平成18年に発足した自治会です。新興自治会におけるコミュニケーション不足解消のため、子どもを中心とした地域行事を展開しています。平成30年には県の「元気なコミュニティ特選団体」に認定されました。写真は令和2年1月に開催された長橋町自治会館の落成祝賀会の様子です。

〔特集〕つながる・地域の元気「県央編」 2-3

NPO法人馬と曲り家のおおさわ村	
八幡平市寺田地域振興協議会	
岩手県からのお知らせ	4
岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターからのお知らせ	5
NPO活動交流センターからのお知らせ	6
助成金情報	7
あなたのまちの市民活動支援のみなもと	
NPO法人いわて地域づくり支援センター	8

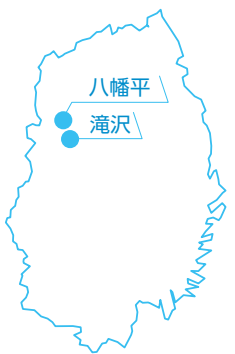
NPO法人馬と曲り家のおおさわ村

南部曲り家と田園風景広がる大沢地域
地域資源の魅力を発信する

つながる・地域の元気「県央編」

特集

特集「つながる・地域の元気」、今号は県央地域の2団体をご紹介します。NPO法人「馬と曲り家のおおさわ村」は、滝沢市の大沢地域で南部曲り家等の地域の文化を伝える活動を行っています。また、八幡平市の八幡平市寺田地域振興協議会では、地域活動の拠点としてコミュニティセンターの運営を行っています。最終面では紫波町のNPO法人「いわて地域づくり支援センター」をご紹介します。



「NPO法人馬と曲り家のおおさわ村」は、滝沢市大沢地域の魅力を伝える活動を行う。活動拠点にもなっている「藤倉邸」は、明治28年に建てられた「南部曲り家」だ。現在も住居として使われており、特徴の一つである

見事な茅葺き屋根は、毎年「馬と曲り家のおおさわ村」の会員や地域住民らが補修する。藤倉邸は地域の文化と活動の拠点でもあるそうだ。事務局長の藤倉恭一さんにお話を伺った。

自然・文化に豊富な資源を持つ地域

藤倉さんは、大沢地域を地域の資源の豊富などところだと話す。豊かな田園風景の中で夏にヘイケボタルが見られ、観察会も開催される。また、宮沢賢治が岩石採取に通った場所でもある大沢坂峠が、現在は自然観察会や大沢保育園児の登山にも使われている。地域の文化も豊かだ。大沢田植え踊りや大沢さんさ踊り等の伝統芸能がある。毎年6月の第2土曜日は、地域内の農家で飼育された馬を伴い、チャグチャグ馬コにも参加している。

地域の住民が楽しめる場所として

市から指定管理を受け、寺田コミュニティセンターの運営を始めたのは2014年。開館当初から運営し、二期目になる。建物は、旧寺田公民館をそのまま使用している。

八幡平市寺田地域は、盛岡市や滝沢市、岩手町に接する旧西根町エリアにある。同地域の北方にある七時雨山は、毎年多くの人が登山に訪れる山として有名だ。寺田地域振興協議会では、寺田コミュニティセンターの運営等、地域づくり活動を行う。地域振興協議会の会長であり寺田コミュニティセンターのセンター長でもある畠山城司さんにお話を伺った。



小さな秋まつり開催の様子

畠山さんによれば、旧公民館時代から、生涯学習だけではなく地域活動の拠点でもあったそうだ。寺田地域でのみ開催されていた「公民館まつり」は、現在の「寺田コミセンまつり」にあたる。毎年3月に行われるコミセンまつりでは、20以上の地域の団体が発表や展示を行う。寺田地域住民による「寺田喜劇団」の特別公演も人気だという。寺田コミュニティセンターの主催事業である「七時雨大学」は、地域の高齢者を対象として毎年6月から2月まで月に1回開講される。今年度は43名が入学（登録）した。防災や環境、歴史等の講座を受講できるほか、陶芸や運動、移動研修等、参加者が楽しめる内容となるように工夫している。



茅葺き屋根の補修作業

◎南部曲り家

母屋と馬屋が一つになった住居。南部藩の頃から見られ、馬と共に生活する工夫が施されている。茅葺き屋根で現在も住居として使われる藤倉邸はとても貴重だそうだ。

NPO法人としての最初の活動は、こうした大沢地域の「宝物探し」だったという。あらためて地域を歩き、魅力を景観マップとして作成し、地域内に全戸配布した。「地域の皆に魅力を知ってもらいたい。」と藤倉さん。地域内では当たり前なのが、地域の宝であると感じてもらうことから始めた。

魅力のある

地域として発信

毎年春には茅葺き屋根の補修活動、春から秋にかけて親子向けの田植え、稲刈り等の農業体験を行う。藤倉邸で行われる大きなイベントは年に二つ。一つは、チャグチャグ馬コと同日に行う「チャグチャグ馬コふれあいまつりin滝沢」



藤倉恭一事務局長

藤倉さんは「若い人に魅力を伝え、いいところだと思ってもらえる地域にしたい」と活動に込める願いを語る。大沢地域の魅力のある自然と文化を伝えるため活動を続ける。

寺田コミュニティセンターの事業を考えるうえで意識することは、毎年マンネリ化しないように気を付けること。性別や世代を問わず地域の人々が交流する場所を目指している。



畠山城司会長

いる。



コミセンまつり・寺田喜劇団の特別公演

寺田地域では世代間交流も盛んだ。小学校や保育所の子ども達に参加できる行事も積極的に実施する。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、思い出作りができない子どもたちのために、感染症対策を講じたうえで「小さな秋まつり」を寺田コミュニティセンターにて開催した。寺田小学校に通う子供たちが縁日やゲームを楽しんだ。

畠山さんは、「人口減少、少子化、水田放棄地の拡大等の課題を見据えて活動したい」と今後の活動を語る。今後さらに進むであろう人口減少に対し、地域内の繋がりが深めていなくてはならない。寺田地域振興協議会や寺田コミュニティセンターが担う役割はより大きくなりそうだ。

ボランティア
虎の巻②

季節も師走に入り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配される中、寒さも本格的になる時季となりました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか？
このコーナーでは、みなさんにボランティア活動の虎の巻をシリーズでお伝えします。
今回は、全国的に災害が頻発する昨今の状況下での災害ボランティア活動に赴く前に、普段から私達が行える災害時の備えについてご紹介します。

- 1 家具の置き方、工夫など転倒防止対策をしておきましょう！
家具は壁に固定、手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。
- 2 食料・飲料・生活必需品などの備蓄をしておきましょう！
普段の生活の中で利用されている食品等を備えておきましょう。
飲料水(1人1日3リットルが目安)、ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、缶詰などの食料品、それぞれ最低3日分を用意し、大規模災害発生時には1週間分の備蓄が望ましいとされています。併せて、ティッシュペーパー、トイレ用紙、マッチ、ろうそく、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、カセットコンロなどの生活用品も備えておきましょう。
備蓄の新しい方法として、普段から少し多めに食材、加工品を購入し、食べたり使ったりした分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料等を家に備蓄しておく方法「ローリングストック」があります。
- 3 非常用持ち出しバッグを準備しておきましょう！
飲料水、食料品、貴重品、救急用品、ヘルメット・防災ずきん、軍手、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器、衣類、下着、毛布、タオル、洗面用具、使い捨てカイロなど非常時に持ち出すべきものをリュックサックにあらかじめ詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。
子どもや高齢者がいる家庭、女性の備えるものが別途ありますので、一緒に持ち出しましょう。
新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク、手指消毒用アルコール、石鹸・ハンドソープ、ウェットティッシュ、体温計も持ち出しましょう。
- 4 ご家族同士の安否確認方法を決めておきましょう！
日頃から安否確認の方法や集合場所などを事前に話し合っておきましょう。
災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡がとれない場合があるため、災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板のサービスを利用しましょう。
- 5 避難場所や避難経路を確認しておきましょう！
お住いの自治体のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイト(<https://disaportal.gsi.go.jp/>)などから防災マップやハザードマップを入手し、避難場所や避難経路を事前に確認しておきましょう。
- 災害時の備えについて詳しくは、以下の各ホームページをご覧ください。
・首相官邸「災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう!～」 <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>
・一般財団法人日本気象協会 「トクする!防災」 <https://tokusuru-bosai.jp/index.html>
・内閣府防災担当「内閣府防災情報のページ」 <http://www.bousai.go.jp/>
・TEAM防災ジャパン <https://bosaijapan.jp/>
・全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) <http://jvoad.jp/>



★体験期間もあつた！ボランティア体験inいわて

①パソコン・スマホから検索する方法
ボランティア体験 in いわて 検索
体験プログラム検索ができる画面が表示されます。

②最寄りの社会福祉協議会を訪ねる方法
社会福祉協議会の窓口に「ボランティア体験inいわてに参加したい」とご相談ください。

【お問合せ先】岩手県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター
TEL:019-637-4483 FAX:019-637-7592
「ずっぱりボランティアいわて」 URL <http://iwate-volunteer.jp/>

開催！「いわて協働推進フォーラム」

岩手県では、多様な主体の参画・協働・連携に関する理解の促進を図るため、「いわて協働推進フォーラム」を開催します。「いわて協働推進フォーラム」では、いわて県民計画(2019～2028)において多様な主体の連携・協働により取り組むこととしている、「新しい時代を切り拓くプロジェクト」や、各開催地域の協働実践事例の紹介、協働と参画を進めていくためのパネルディスカッションを行います。

日 時	会 場	テ ー マ
令和3年2月2日 13:30～15:00	イーストピア 宮古 多目的ホール	三陸鉄道と地域づくり ～三陸防災復興ゾーンプロジェクト～ MC：八重樫 真 氏 (岩手県北自動車株式会社 みやこ浄土ヶ浜遊覧船 遊覧船事業部長) パネリスト：ブラザー工業株式会社 橋上 和司 氏 (三陸鉄道株式会社 旅客営業部長 兼 総括駅長) 古舘 良太 氏 (野田村未来づくり推進課)
令和3年2月8日 13:30～15:00	エスポワール いわて 大中ホール	首都圏と岩手をつなぐ「遠恋復興」 ～人交密度向上プロジェクト～ MC：林 光人 氏 (株式会社パソナ東北創生 コーディネーター) パネリスト：河東 英宜 氏 (株式会社かまいしDMC 執行役員) 水島 壽人 氏 (岩手働き方改革推進センター センター長)
令和3年2月10日 13:30～15:00	二戸シビック センター 1階ホール	遺産と産業と協働 ～北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト～ MC：大久保 瞳 氏 (認定NPO法人カシオペア市民情報ネットワーク 放送局長) パネリスト：青谷 耕成 氏 (株式会社小松製菓 執行役員) 小田島 勇 氏 (二戸市滴生舎 次長) 鈴木 雪野 氏 (御所野縄文博物館 学芸員)

※観覧無料・各会場の定員50名まで(オンライン(Zoom)による聴講(事前申し込み)も可能)

■申込・お問い合わせ先 事務局 特定非営利活動法人いわて連携復興センター
TEL:0197-72-6200、FAX:0197-72-6201、E-mail:info@ifc.jp
詳細は後日、岩手県ホームページ(URL: <https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/npa/index.html>)にて。

『特定非営利活動法人感染症対策補助金』の申請期間等を延長します！

申請期間:令和3年2月10日(水)午後5時必着
補助対象:令和2年4月1日から令和3年1月31日までの間に、特定非営利活動法人が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために購入した備品や消耗品に要する経費(※1法人10万円まで)
お問合せ先:岩手県環境生活部若者女性協働推進室 連携協働担当(TEL:019-629-5199[直通])

助成金情報

これから申請できる助成金情報です。
詳細については、実施団体に直接連絡するかホームページをご確認ください。



令和3年度「地域の伝統文化助成」[支援団体/(公財)明治安田クオリティオブライフ文化財団]

対象団体／古来各地に伝わる「民俗芸能」ならびに「民俗技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている団体または個人。

助成対象／(1) 地域の民俗芸能への助成
地域の民俗芸能の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体
(2) 地域の民俗技術への助成
地域の民俗技術の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体

- 申込期限/令和3年1月29日(金)※当日消印有効
- 助成金額/「民俗芸能」は1件につき上限70万円を、「民俗技術」は1件につき上限40万円
- 参考URL/ <https://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp/culture/guide/>

2021年度地域ささえあい助成[支援団体/ CO・OP共済]

対象団体／日本国内を主たる活動の場とする、下記全てを満たす団体
生活協同組合、NPO法人、任意団体、市民団体(今後設立予定の団体でも可)。
次の1、2いずれか必須。

- 1 生活協同組合以外の団体が応募する場合、活動内容が生活協同組合と協同して行うものであること
- 2 生活協同組合が応募する場合、生活協同組合以外の団体と協同して行うものであること

対象事業／(1)「くらしを守り、くらしの困りごとの解決に資する」
(2)「命を守り、その人らしい生き方ができるようにする」
(3)「女性と子どもが生き生きする」

- 応募期間/令和3年1月7日(木)～1月29日(金) ※当日消印有効
- 助成金額/1件あたりの上限額:100万円
- 参考URL/<http://coopkyosai.coop/about/csr/socialwelfare/2021.html>

2020年度助成事業対象者募集[支援団体/公益財団法人ノエビアグリーン財団]

応募資格／◇個人

将来、世界大会やオリンピック、パラリンピック出場等を目指すアマチュアスポーツ選手(18歳以下)
※公募開始(2020年12月1日)時点の年齢が18歳以下であること。また、プロ契約選手(競技を通して金銭を授受している方)は対象外

◇団体

児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している要項内①～⑨の分野にあてはまる団体。

- 申込期限/令和3年2月26日(金)正午(必着)
- 助成金額/1件あたりの上限額:300万円
- 参考URL/<https://www.noevirgreen.or.jp/grants/>

社会貢献基金助成[支援団体/(一財)冠婚葬祭文化復興財団]

対象団体／以下の条件を満たす、非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループを含む)及び大学、研究機関で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。(研究助成事業のみ、個人も対象)

- (1)定款に準ずる規約を有し、自ら経理し、監査することができる会計機能を有すること。
- (2)団体等の主たる事務所(又は準ずる所)を日本国内に有すること。
- (3)団体等の意志を決定し、今回申請する活動を実施する体制が確立していること。
- (4)団体の活動実績(今回申請する活動又は類似した活動)を過去3年以上有し、今回申請する活動のニーズが高く今後も継続性が期待できること。
- (5)申請する事業の実施のための自己資金を保有すること(他の民間団体等からの助成を除く)。

対象事業／(1)研究助成事業 (2)高齢者福祉事業 (3)障害者福祉事業 (4)児童福祉事業 (5)環境・文化財保全事業 (6)地域つながり事業 (7)冠婚葬祭継承事業

- 申込期限/令和3年2月末日(必着)
- 助成金額/ 1件あたりの上限額:200万円 ※但し、研究助成事業においては、100万円
- 参考URL/ <http://www.ceremony-culture.jp/social/service/fund/content01/>

NPO活動交流センターからのお知らせ

NPO法人向け感染症対策支援 オンライン導入・活用セミナーの開催

県内NPO法人の「新しい生活様式」に対応した活動への転換を支援するため、各地域の中間支援NPOと協力し、オンラインツールの導入や活用を学ぶセミナーを開催します。実践編では機材やオンラインツールの機能活用方法について、発展編では実際にオンライン会議等への参加や開催を体験します。内容は開催地域により異なりますので、下記団体の問い合わせ先からご確認ください。(参加費:無料)

県北	■日時 実践編: 令和3年1月8日(金) 発展編: 令和3年1月15日(金) いずれも 13:30～15:30	■場所 久慈市勤労青少年ホーム ■申込・問合せ先 NPO法人やませデザイン会議 TEL:0194-61-3229 E-mail:info@i-yamase.net URL: http://www.i-yamase.net/
	■日時 実践編: 令和3年1月16日(土) 発展編: 令和3年1月23日(土) いずれも 13:30～15:30	■場所 雫石町まちおこしセンターしずく×CAN ■申込・問合せ先 NPO法人まちサポ雫石 TEL:019-909-0193 E-mail:koso_sapo@yahoo.co.jp URL: https://shizukucan.wixsite.com/
県央	■日時 実践編: 令和3年1月13日(水) 発展編: 令和3年1月26日(火) いずれも 13:30～15:30	■場所 北上市 おでんセグロブ ■申込・問合せ先 NPO法人いわてNPO-NETサポート TEL:0197-61-5035 E-mail:npo@npo2000.net URL: https://npo2000.jp
県南北上	■日時 実践編: 令和3年1月18日(月) 発展編: 令和3年1月25日(月) いずれも 13:30～15:30	■場所 一関市 なのはなプラザ ■申込・問合せ先 いちのせき市民活動センター TEL:0191-26-6400 E-mail:center-i@tempo.ocn.ne.jp URL: https://www.center-i.org/
県南一関	■日時 実践編: 令和3年1月13日(水) 13:30～15:30	■場所 大船渡市 おおふなぽーと ■申込・問合せ先 大船渡市市民活動センター TEL:0192-47-5702 E-mail:shimin@ofunatocity.jp URL: https://ofunatocity.com/
沿岸	■日時 実践編: 令和3年1月20日(水) 13:30～15:30	■場所 釜石市 みんなの家 ■申込・問合せ先 NPO法人アットマークリアスNPOサポートセンター TEL:0193-27-8400 E-mail:info@rias-iwate.net URL: https://rias-iwate.net/

NPO活動交流センターの基礎講座と NPO・ボランティア活動なんでも!相談所の開催



NPO基礎講座

- 日時 1月27日(水)「NPO法人会計基準」
2月24日(水)「事業年度終了後の手続き」
いずれも ①14:00～15:30 ②19:00～20:30
- 場所 アイーナ6F 団体活動室2
- 定員 各回5名 ※終了後個別相談あり
- 講師 ①久保NPO専門員 ②岩見副センター長
※内容・講師の変更がある場合があります。ご了承ください。

NPO・ボランティア活動なんでも!相談所(予約制)

- 日時 1月13日(水)／2月9日(火)／3月9日(火)／3月25日(木)
いずれも ①14:00～ ②15:00～ ③16:00～ ④18:30～ ⑤19:30～
- 場所 アイーナ6F 団体活動室1AB 1枠1時間です。ご希望の時間にご予約下さい。
- 相談員 岩見副センター長
- 申込・問合せ先 NPO活動交流センター
TEL:019-606-1760 E-mail:n-katsu@aiina.jp URL:www.aiinanpo.org/

あなたのまちの市民活動支援のみなもと

NPO法人いわて地域づくり支援センター



◎DATA…

〒028-3306 紫波郡紫波町日詰西
6丁目1番地8 2F
TEL:019-681-8955
E-mail:iwacen_2005@iwa-c.net
HP: <http://iwa-c.net/>

中間支援組織として 地域づくりを手伝う

いわて地域づくり支援センターは、岩手県内の地域住民、NPO、行政等が対等な関係を築き、持続的な地域づくりを進めていくための中間支援組織として、2005年10月に設立された。

地域づくりに関する支援協力、普及啓発、人材育成等の活動を行い、豊かで魅力的な地域の創造に貢献し、公益の増進に寄与することを目的としている。

いわて地域づくり支援センターは、「頑張りたい」と思っている人や地域の関係をつなぎ支援する中間支援組織だ。しかし、「頑張りたい」と思っている人や団体には、目に見える形、見えない形、それぞれの環境やサポートが必要である。今の日本社会は少子化と核家族化に加えて、急激な社会の高齢化により、共助・互助・公助の弱体化も同時進行している。そのため、中間支援組織では、「頑張りたい」人や団体を応援するだけでなく、地域の共助・互助を維持する役割も大きくなっている。

そのような社会情勢を踏まえて、当センターでは、住民、行政、NPO、企業といった多岐にわたる主体が対等なパートナーシップを築くことで、共に助け合う

新しい社会を楽しむに 地域を支援

持続可能な地域づくりにつながることを期待している。対等なパートナーシップを構築するためには、地域コミュニティの自治能力の再生に加えて地域づくりに関する専門知識や、人材の育成など様々な課題を克服しなければならぬ。そのためには、多様な主体間をバランス良く調整し、地域づくりを円滑にすすめる中間支援組織が必要だ。

いわて地域づくり支援センターでは、持続可能な地域づくりを進めていくための中間支援組織として、地域に寄り添いながら、住民自身が自分たちで取り組むたい課題を選び、自分たちで取り組む手伝いを行っている。さらに、その環境づくりとして行政等も含めた人材育成に取り組んでいる。

こうした取り組みを進め、地域に携わる中で、若者や外から来た人の新しい価値観に驚くことが増えた。新しい社会を担う人や団体との出会いを楽しみにし、当センターの行う地域づくりにおいてもそのような希望、期待が感じられるような支援を行っていききたい。

(文：NPO法人いわて地域づくり支援センター 常務理事 若菜千穂)

編集後記

PIN冬号は県央地域の2団体を特集でご紹介しました。どちらも地域づくり活動を行う中で、子どもの元気な姿が地域の元気につながっているように感じました。少子化の時代、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあります。地域ぐるみで子どもを育てることがさらに大切になるのではないのでしょうか。次回春号は県南地域を特集します。(H・M)

NPO活動交流センターのHPでは、様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。

みなさまからの市民活動情報や「ピン」への取材依頼もお寄せください。

URL: <https://www.aiinanpo.org/> E-mail: n-katsu@aiina.jp

アイーナ N活

検索

Twitter フォローお願いします!!!
<https://twitter.com/aiinaNPO>

Facebook いいねをお願いします!!!
<https://www.facebook.com/aiinaNPO>

ハイ